

まるごとテーマパークプロジェクト

～農とふれあうテーマパーク創造事業～

—No.11 東松山市—

【事業の目的】

市北部にある東松山市農林公園（4.2ヘクタール）を、高度環境制御型農業用ハウスや農産物加工施設などを備えた公園へと全面的にリニューアルするとともに、農業研修機能や農産物加工開発機能等を付加し、市内の観光拠点とも連携して交流人口の増加を図り、移住定住促進の一助とすることを目的としています。

【事業の内容】

①施設（ハード）面の整備

I T技術を導入した高度環境制御型温室を設置するとともに附随する基盤整備を行い、併せて農業体験機能、農産物加工開発機能、グリーンツーリズム機能を付加するための施設整備を行うことで農林公園を本市農業の拠点としてリニューアルします。

②事業・施策（ソフト）面の充実

科学的根拠に基づく栽培管理技術や高度な経営能力を有した次世代農業人材を育成していきます。また、6次産業化を推進するため、加工品開発や農業研修に必要な施設整備を行います。農業体験としては、施設内で野菜や果物の収穫体験を行うほか、農産物が食卓に上がるまでの過程を含めた食育体験学習を行います。公園の休憩スペースとして市民に親しまれる空間を確保し、訪問客を農とふれあう機会へと導いていきます。

【事業年度】

平成30年度～平成31年度（2か年）

【予算額(千円)】

618,306千円（平成30年度～平成31年度）

うち 573,306千円（平成30年度）

【財源】

生産性革命に資する地方創生拠点整備交付金(国)、ふるさと創造資金(県)
地方債、一般財源(市)

【事業実施に至った背景・経緯】

当市では、「観光・産業・子育て」を地方創生の主要な柱に掲げて諸施策を推進しており、企業の進出や人口の増加といった成果を挙げています。

こうした中、農業施策については、従来からの特産品である梨や栗を活用した新商品の開発、栗の新品種「ぼろたん」や白いトウモロコシの作付の拡大、JAの直売所の建替え支援などを通じて地域農業の振興を図ってきたところです。今般の農林公園リニューアルを中心とした事業は、こうした経過を踏まえ、実施するものです。

【事業のPRポイント】

優れた農業人材を育成するための「農業研修機能」を核に、地域農産物のブランド価値を創造する「農産物加工開発機能」、農業に対する市民の理解促進を図る「農業体験機能」、緑豊かな農村で余暇活動を促進する「グリーンツーリズム機能」を付加した整備を行います。最先端の農業拠点施設で広く研修生を受け入れながら農業研修を実施することにより、新規就農者の移住を促進していきます。また、農林公園をはじめとする市内の観光拠点を有機的に連携させ交流人口の増加を図ることでまちの賑わいを創出し、住むまちとしての魅力を高め移住定住を促進していきます。

【事業実績・成果・今後の展開】

①施設（ハード）面の整備＜平成30年度＞

高度環境制御型温室・基盤整備・農園設備・給排水電気工事・農産物加工体験施設・休憩施設

②事業・施策（ソフト面）の充実＜平成30年度＞

農業研修室、事務室の設備整備・調理室、休憩室の設備整備・案内看板誘導標識の設置・農園施設（遊具）の設置・農産物加工室設備整備

〔 連絡先 〕

政策推進課 活性化戦略室 0493(23)2221(内線224)